

## アウトドア用 一酸化炭素アラーム



### 取扱説明書 [保証書付]

型式名 **CL-715**



このたびは、アウトドア用一酸化炭素アラームをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書の最新版を次のQRコードにて公開しています。  
スマートフォンなどにダウンロードし、キャンプなどにも携帯することをお勧めします。



### もくじ

本製品について	1
使用上のご注意	1
各部の名前と働き	3
保管と廃棄のしかた	3
仕様	4
アフターサービスについて	4
製品に関するお問い合わせ	4
使いかた	5
故障かな?と思ったら	9

## アラームが作動したときの処置のしかた

本製品が一酸化炭素を検知すると、一酸化炭素の発生状況により「危険」「注意」の2段階でアラームが作動します。

### 危険アラーム

「ピポッピポッ 一酸化炭素を検知しました  
危険です 危険です」  
と鳴り、赤色LEDが1秒ごとに1回点滅

### 注意アラーム

黄色LEDが5秒ごとに1回点滅

種類	アラームの作動条件
危険	一酸化炭素濃度が25ppm以上100ppm未滿を検知かつ検知時間が15分以上
	一酸化炭素濃度が100ppm以上を検知
	一酸化炭素濃度が1000ppm以上を検知*
注意	一酸化炭素濃度が25ppm以上100ppm未滿を検知かつ検知時間が15分未滿

※ 音声内容、LED表示に加えて画面に「999」と点滅表示



### 直ちに避難してください

安全を確保した後、火気の使用中止、換気などの必要な処置を行ってください。

※ アラーム音を発している場合、電源を切ることはできません。  
アラーム音の音量を下げたいとき  
(⇒P.8の「6.アラーム音の下げかた」を参照)

## 本製品について

本製品はキャンプや登山などアウトドアの環境で、一酸化炭素(CO)を検知し、音声でのアラーム音により、一酸化炭素中毒の危険をお知らせする機能を備えています。  
ただし、一酸化炭素の発生を未然に防止する装置ではありませんので、一酸化炭素の発生による損害については、責任を負いかねます。  
また、この製品の使用により、テント内や車内などにおける火気の使用を推奨するものではありません。  
※ 本取扱説明書に記載されている内容以外の使いかた、取り付け、保管を行わないでください。

### ■付属品

- カラビナ…1個
- 点検用スポイト…1個 **〈ご注意〉**
  - ・誤飲に注意してください。
  - ・高温になる部分がありますのでやけどに注意してください。
- 取扱説明書(保証書付)/本書…1枚

## 使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

**警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

**注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

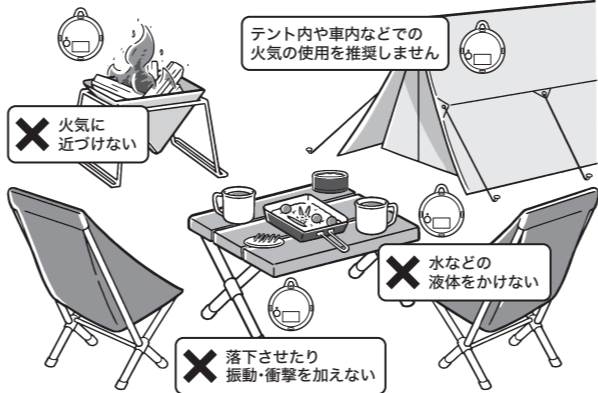
## 警告

- 本製品は、アウトドアの活動で発生する一酸化炭素(CO)を検知し、一酸化炭素中毒の危険性をお知らせすることを用途としていますので、以下のような用途では使用しないでください。
  - ・一酸化炭素濃度の危機管理が必要な場所や施設
  - ・労働安全衛生法や公害対策基本法など、法令に基づく一酸化炭素の濃度管理
- 子供だけで使わせたり、乳幼児の手が届くところで使用しないでください。
- 一酸化炭素検知部は、絶対にふさがないようにください。一酸化炭素を検知できなくなります。
- 付属品を含む本製品は、破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。また、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- 本製品を以下のような場所に置いたり、近づけたりしないでください。
  - ・誤動作や故障、火災、やけど、けがの原因となります。また、一酸化炭素を検知できなくなり、中毒を起こすおそれがあります。

- ・ガタつくテーブルなど、カラビナ(付属品)を付けた本製品を安定した状態で取り付けできない、または置けない場所
- ・たき火やストーブなどの火気
- ・加熱、高压器具
- ・直射日光が長時間あたる場所
- ・車内のダッシュボードや屋外の物置などの高温になる場所
- ・使用温湿度範囲外(⇒P.4の「仕様」を参照)の場所

- 砂、土、泥、水などの液体(水、海水、汗、ペットの尿など)をかけないようにください。
- 故障、火災、やけど、けがの原因となります。また、一酸化炭素を検知できなくなり、中毒を起こすおそれがあります。

- 付属品の取り付け、組み立ては乳幼児や子供の手の届かない場所で行ってください。  
誤飲やけがをすることおそれがあります。
- 本製品が一酸化炭素を検知し、LEDの点滅やアラーム音を発したら、直ちに避難してください。安全を確保した後、火気の使用中止、換気などの必要な処置を行ってください。
- 本製品の動作に異常を感じた場合、直ちに避難してください。安全を確保した後、周囲に一酸化炭素が発生していないこと(燃焼機器がない、使用していない等)を確認して使用を中止してください。



※ 本製品に、単4形アルカリ乾電池(LR03)やカセットコンロ等は付属していません。  
本製品の使用には単4形アルカリ乾電池(LR03)、点検にはカセットコンロ等が必要ですので、別途ご準備ください。  
※ 本製品の付属品は別売していません。

### 絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

## 注意

- 点検をするとき、カセットコンロ等の炎やタバコの煙などを、本製品に直接かけないようにください。
- 火の中に投入したり、熱を加えないでください。  
故障、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの(針や釘など)を刺したり、硬いもの(石やハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
- 故障、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 落下させる、踏みつける、放り投げるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
- 故障、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品の外側のゴムを外さないでください。必ず装着した状態で使用してください。
- 付属のカラビナは本製品以外には使用しないでください。
- 本製品に耳を近づけて音を聞かないでください。  
聴力障害などの原因となるおそれがあります。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどにて本製品を拭かないでください。
- アルコール成分を含む除菌シート・スプレー類・洗剤などと一緒に保管しないでください。  
正常に動作しなくなる可能性があります。

- 分解や改造はしないでください。  
故障の原因となります。

- 本製品を雨など水が直接かかる場所で使用しないでください。  
本製品の防水性能はIPX4相当です。雨など水が直接かかる場所には使用できません。

- ご使用前には付属の点検用スポイトを使用し、必ず点検を行ってください。
- 本製品を起動する場合、必ずきれいな空気中で行ってください。
- 使用後は必ず電源をお切りください。
- 乾電池のセットやサーモラベルの確認については、5ページの「1.乾電池のセットのしかた」、6ページの「2.サーモラベルの確認」を参照して、正しくお使いください。
- 本製品に振動、落下等の衝撃が加わった場合は、電源を入れ直して正常に起動するかを確認し、点検を行ってから使用してください。
- 本製品に雨など水がかかった場合は、本体を乾燥させて、一酸化炭素検知口がふさがれていないこと、および電源を入れ直して正常に起動することを確認し、点検を行ってから使用してください。水没させた場合は使用しないでください。

## 各部の名前と働き

### ■本体

- **一酸化炭素検知部**  
一酸化炭素を検知します。点検ガスを注入する部分です。
- **LED**  
一酸化炭素を検知すると、赤色または黄色が点滅してお知らせします。  
本体の故障や電池切れの場合、黄色が点滅してお知らせします。
- **スイッチ**  
電源のON/OFFやその他の機能を作動する場合に使用します。
- **カラビナ取付部**
- **スピーカー部**  
一酸化炭素のアラームやお知らせ音が鳴ります。
- **保護カバー**
- **液晶画面**  
電池残量表示  
ガス種表示 濃度単位  
PEAK表示 濃度表示

## 保管と廃棄のしかた

### 保管のしかた

使用後は、必ず電源を切ってください。

## 警告

- 本製品を以下のような場所で保管しないでください。  
誤動作や故障、火災、やけど、けがの原因となります。また、一酸化炭素を検知できなくなり、中毒を起こすおそれがあります。
  - ・ 乳幼児や子供の手が届く場所
  - ・ 直射日光が長時間あたる場所
  - ・ 車内のダッシュボードや屋外の物置などの高温になる場所
  - ・ 使用温湿度範囲外(⇒P.4の「仕様」を参照)の場所
- 包装材料は商品を取り出した後、適切に処理をしてください。
- 小物部品については誤飲を防ぐために乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

## 注意

- キャンプで使用する燃料(固形、液体、ジェル状、カセットボンベなど)や着火剤、虫よけスプレー、防虫スプレーなどと一緒に保管しないでください。  
正常に動作しなくなる可能性があります。
- 汚れを落とす場合、水に浸した布をよく絞ったもので拭き取り、完全に乾燥させてください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
- 乾電池を金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しないでください。
- 乾電池の液がもれたときは、素手でさわらないでください。  
・ 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
- 乾電池の液がもれたときは、皮膚の炎症によるけがの原因になるため、きれいな水で十分に洗い流した後、医師にご相談ください。

※ 長時間使用しない場合、乾電池を抜いて保管してください。  
乾電池の液もれにより、製品が破損したり、火災、けがなどの原因となるおそれがあります。

### 廃棄のしかた

乾電池を抜き取り、各市町村で定められた方法に従って廃棄してください。

## 仕様

項目	仕様
型式名	CL-715
サイズ	φ70x29mm(突起部を除く)
質量	約90g(電池、付属品を除く)
電源	単4形アルカリ乾電池(LR03)2本 電池寿命約1年間(無警報、25°Cの場合)*1
検知対象ガス	一酸化炭素(CO)
表示範囲	0~999ppm
アラーム(注意)	一酸化炭素濃度が25ppm以上100ppm未滿を検知かつ検知時間が15分未滿
アラーム(危険)	一酸化炭素濃度が25ppm以上100ppm未滿を検知かつ検知時間が15分以上
赤LED点滅+音声合成音*4	一酸化炭素濃度が100ppm以上を検知(70dB以上)
使用温湿度範囲	-10~50°C、15~90% RH
保管温湿度範囲	-10~50°C、15~90% RH
保護等級	IP54相当*3
付属品	カラビナ、点検用スポイト、取扱説明書(保証書付き)

※1 環境条件、使用条件、保存期間、電池の差などにより短くなる場合があります。

※2 赤LED点滅+液晶画面のバックライト点灯+音声合成音(70dB以上)に加えて画面に「999」と点滅表示。

※3 IP54相当とは水滴や粉塵から商品内部を保護するものであり、水滴や粉塵が降りかかるなかでガス検知能力を保證するものではありません。

※4 濃度表示の数値が15ppmより下がると音声合成音は鳴りやみます。

## アフターサービスについて

- 本製品の保証期間はご購入日時から1年間です。保証書を参照してください。
- 本製品の推奨使用期限は、初回購入時から5年です。
- 本製品は日本国内でのみ使用してください。(use only in Japan.)
- 本製品の製品保証は日本国内でのご使用のみ有効です。  
(Product warranty valid for only utilization in Japan.)

## 製品に関するお問い合わせ

### 新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4  
HP URL <https://www.new-cosmos.co.jp/>

[大阪]06-7668-2316

電話受付時間: 9:00~17:00(平日のみ・当社指定休業日を除く)

※ 本書に記載されている意匠、仕様および部品については、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。



### 保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による交換をお約束するものです。

型式名 **CL-715**  
保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前	様	
販売店	住所	店名	
	電話	( )	
	電話	( )	

(保証者)  
新コスモス電機株式会社

(無料交換規定)

- 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、本書をご提示いただくことにより無料交換をさせていただきます。  
無料交換をご依頼になる場合には、ご購入先までお問い合わせください。  
本書にお買い上げ日および販売店名の記載がない場合は、本書とともに、お買い上げ日および販売店名がわかるもの(レシート等)をご提示ください。
- 本書に定める保証の範囲は機器本体(付属品除く)とします。  
機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。  
保証期間内でも次のような場合には原則として有料交換となります。  
(1) 使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。  
(2) 落下衝撃などによる故障、および損傷。  
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常温度、異常雰囲気、異常電圧等による故障および損傷。  
(4) 本製品の目的用途以外(例えば業務用設備、船舶など)に使用された場合の故障、および損傷。  
(5) 本書のご提示がない場合。  
(6) 本書にお買い上げ日および販売店名がない場合(ただし、それらがわかるレシート等のご提示がある場合を除く)。あるいは文句を書き替えられた場合。
- お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料交換対応のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。  
5. 本書は日本国内のみ有効です。  
6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※ この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料交換をお約束するものです。  
※ この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。  
※ This warranty is valid only in Japan.

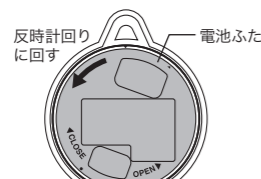
1. 乾電池のセットのしかた

注意

- 乾電池を使用するときは、乾電池またはパッケージに記載されている注意事項を守り、正しくお使いください。
- 乾電池は誤った使いかたをしないでください。取り扱いを誤ると、液もれや発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
  - ・単4形アルカリ乾電池(LR03)以外の乾電池を使わない
  - ・充電式の二次電池を使わない
  - ・乾電池を充電しない
  - ・加熱や分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
  - ・火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で充電・使用・放置しない
  - ・乾電池の＋とーを針金などで接続しない
  - ・金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない
  - ・新・旧の乾電池や違う種類の乾電池をいっしょに使わない
  - ・被覆のはがれた乾電池を使わない
- 乾電池の液がもれたときは、素手でさわらない
  - ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
  - ・液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症によるけがの原因になるため、きれいな水で十分に洗い流した後、医師にご相談ください。
- 乾電池の挿入や交換は乳幼児や子供の手が届かない場所で行ってください。
- 守らないと、誤飲やけがをするおそれがあります。
- 乾電池をセットするとき、乾電池の極性(+-)を間違えないように、電池ケースの電池マークに合わせて入れてください。
- 間違えて挿入すると、機器が破損する可能性があります。
- 長時間使用しない場合、乾電池を抜いて保管してください。乾電池の液もれにより、製品が破損したり、火災、けがなどの原因となるおそれがあります。

※新品の単4形アルカリ乾電池2本をご準備ください。

①裏面の電池ふたをOPEN側に回して開けます。

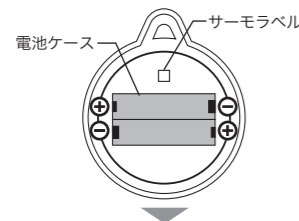


※水滴や粉塵から内部を保護するために、電池ふたが固く締まるようになっています。力を入れて回してください。

警告

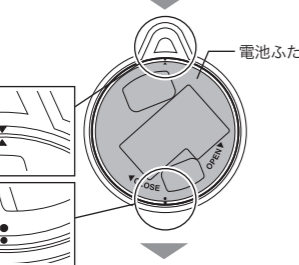
電池ふたを開けた後、必ずサーモラベルを確認してください。 ※確認の方法は6ページの「2.サーモラベルの確認」を参照してください。

②単4形アルカリ乾電池2本を、電池ケースにセットします。 <ご注意>



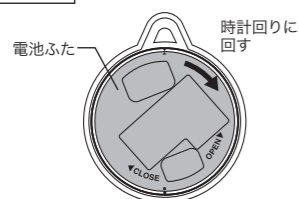
- ・乾電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。
- ・充電式電池は使用できません。

③電池ふたの▲印と●印をそれぞれ、本体上部の▲印、下部の●印に合わせます。



※電池ふたが本体に対して斜めになると、うまく閉まりませんので、まっすぐに挿入してください。

④電池ふたをCLOSE側に回して閉めます。 ※電池ふたを閉めない、防塵・防水性能が低下します。

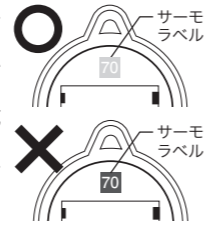


⑤表面の電池残量表示が電池残量3になっていることを確認します。



2. サーモラベルの確認

ご使用前に電池ふたを開けて、必ずサーモラベルの色をご確認ください。ラベル全体が赤色の場合は使用しないでください。



3. 電源の入れかた

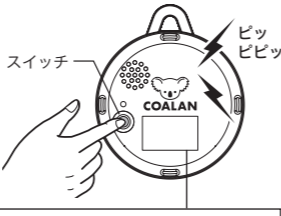
警告

スイッチを押して操作音が鳴らない、または小さくて聞き取れない場合、使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険をお知らせできません。

注意

本体の起動は、必ずきれいな空気中で行ってください。

「ピッ」「ピピッ」と鳴り、画面に「ON」と表示されるまでスイッチを長押し(約3秒間)してください。



画面が全表示を行った後、「ON」と表示します。その後、「30」が表示され、「29、28…」と数字がカウントダウンされます。

「1」が表示された後に「ピー」と鳴り、画面が通常モードになると使用できます。 ※画面に何も表示されない場合や「Err」表示、電池残量表示のみの場合等、通常モードにならない場合、9ページの「故障かな?と思ったら」を参照して処置してください。

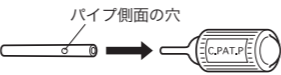
4. ご使用前や本体を清掃したときの点検のしかた

警告

- 本製品を使用する前に、必ず以下の点検を行ってください。本製品が正常に動作しないために、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- お子さまや妊婦の方は、危険ですので、点検を行わないようにしてください。
- 点検は乳幼児や子供の手の届かない場所で行ってください。誤飲や一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

カセットコンロ等を準備して以下の点検を行い、濃度表示の数値が変わることを確認してください。 ※点検の際は、火災事故に注意してください。 ※ご使用前および清掃を行ったときは(汚れを拭き取る際に、ほこりや水滴などで一酸化炭素検知部をふさいでしまう場合があります)、必ず付属の点検用スポイトを使用し、点検を行ってください。 ※点検用スポイトが無い場合は、本体を線香や炭火の近くに近づけて数値が変わることを確認してください。その際、やけどや機器損傷等が無いよう、十分に注意してください。

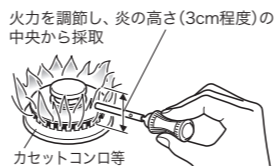
- ①点検用スポイトを組み立ててください。パイプをスポイトの先端に差し込みます。 ※パイプ側面の穴がスポイト側に来るように差し込んでください。



注意

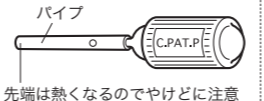
点検用スポイトに破損、変形や穴がふさがっている等がないことを確認してください。破損等がある場合は、点検に使用しないでください。代わりに線香や炭火に近づけて数値が変わることを確認してください。

- ②点検用スポイトのスポイト部分を指でつまんで、十分に圧縮させた状態で、炎の中心部に、パイプの先端をもっていき、指をゆるめてガス成分を採取してください。



注意

炎から出した直後のパイプは、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどします。

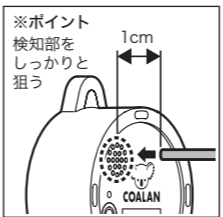


- ③パイプの先端の温度が下がるまで、約30秒間待ってください。
- ④パイプの先端が動かないように注意しながら、スポイト部を圧縮し、一酸化炭素検知部にガスを吹きかけてください。 ※ 本体を傷つける可能性があるため、本体とスポイトの先端は、1cm程度離してください。

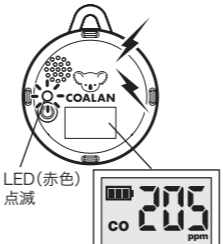


警告

採取したガスは、本体の点検以外に使用しないでください。人に向けてガスを吹きかける等をしないでください。吸引すると、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



※ポイント検知部をしっかりと狙う

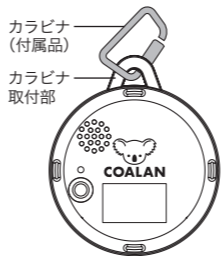


警告

アラーム音が鳴らない、または小さくて聞き取れない場合、使用しないでください。一酸化炭素中毒の危険をお知らせできません。

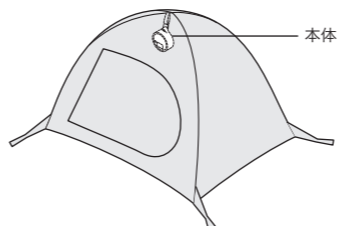
5. 取り付けかた

本体が落下しないように付属のカラビナを本体に取り付けて、ご使用空間(テント内・車内など)の、できる限り上部に吊り下げて使用してください。 ※本製品に落下等の衝撃が加わった場合は、電源を入れ直して正常に起動するかを確認し、点検を行ってから使用してください。



- 直射日光が当たる場所。
- 振動、衝撃の激しい場所。
- 温度/湿度の使用範囲外の場合。
- 雨など水が直接かかる場所。

● 取り付けできない場所 (1ページの「▲警告」を参照) ● 取付例 ● テントで使用する場合 テント内の中央上部に吊り下げてください。 ※ 取付方向によっては、液晶表示や警告点灯が見えにくくなることがあります。



● 車内で使用する場合 アシストグリップなど運転の妨げにならない、できる限り上部に吊り下げてください。 ※ 取り付けには別途ひも等が必要です。

● その他の場所で使用する場合 床から約1.5m~2mくらいの手が届く範囲のできるだけ上部に吊り下げてください。

6. アラーム音の下げかた

本製品には、アラーム音が鳴っているときに一時的に音量を下げるができる機能があります。アラーム音が鳴っているときに音量を下げたい場合は、スイッチを押してください。

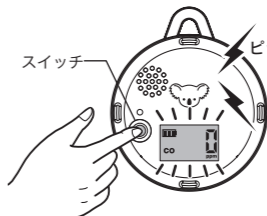


2分間、音量を下げるができます。 ※ 2分経過後に規定の一酸化炭素濃度に下がらない場合、音量が元に戻り、以降は音量を下げるができなくなります。 ※ 規定の一酸化炭素濃度を下回ると、自動的にLED点滅やアラーム音が停止します。

7. 付属機能や画面表示について

■バックライト機能

通常モード時にスイッチを押すと「ピッ」と鳴り、5秒間バックライトが点灯します。



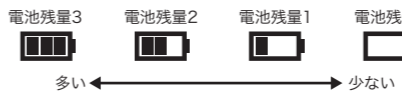
■PEAK機能

電源を入れてから現在までに一酸化炭素を検知(25ppm以上)していた場合に、白色LEDを60秒毎に1回点滅してお知らせします。 お知らせ中にスイッチを押すと「ピッ」と鳴り、「PEAK」点灯と同時に検知した最大値を5秒間表示します。一度、最大値を表示すると、表示されていた最大値はリセットされます。



■電池(残量)お知らせ機能

電池残量を、4段階で表示します。



電池残量に応じて、以下のお知らせを行います。5ページの「1.乾電池のセットのしかた」を参照して、乾電池を交換してください。

状態	音声内容	LED表示	スイッチを押した後の動作
電池残量1	「ピッ」電池を交換してください」5分周期	黄色LED 10秒毎に1回点滅	お知らせを12時間停止
電池残量0	「ピッピッ」10秒周期	黄色LED 10秒毎に1回点滅	お知らせを1時間停止

■故障お知らせ機能

本体が故障した場合、画面に「Err」と表示され、「ピッピッピッ 故障です」とお知らせします。

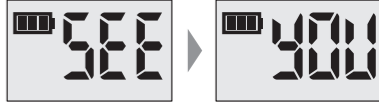


状態	音声内容	LED表示
機器故障	「ピッピッピッ 故障です」5分周期	黄色LED 10秒毎に3回点滅

※「Err」を表示した場合、9ページの「故障かな?と思ったら」を参照して、処置を行ってください。それでも表示が消えない場合は、故障している可能性があるため、使用しないでください。

8. 電源の切りかた

周囲に一酸化炭素が無いこと(アラーム音を発していない)を確認して、スイッチを長押し(約3秒間)してください。「ピッ ピッ ピー」と鳴り、画面に「SEE」「YOU」と表示されて、電源が切れます。



※ 電池残量が「0」の時は、スイッチで電源を切ることはできません。5ページの「1.乾電池のセットのしかた」を参照して、乾電池を交換してください。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	どう処置してください
電源起動時に「Err」表示が出る。	炭火やたき火、運転中の燃焼器具の近くで、電源を起動させていませんか?	場所を変えて、きれいな空気中で乾電池を入れ直してから、再度、電源を入れてください。それでも正常に起動しない場合は、機器が故障している可能性がありますため使用しないでください。
点検中に濃度表示が上がらない。	水が直接かかったりしていませんか?	本体の電源を切り、本体を乾燥させた後、乾電池を入れ直してから再度電源を入れてください。それでも正常に起動しない場合は、機器が故障している可能性がありますため使用しないでください。
黄色のLEDが点滅している。	一酸化炭素検知部が目詰まりなどしていませんか?	一酸化炭素検知部の周辺を清掃して、付属の点検用スポイトで点検を行ってください。
音声が無い場合、アラーム(注意)が動作していませんか?	音声が無い場合、アラーム(注意)が動作していませんか?	音声が無い場合、換気などを行ってください。
音声が有る場合、故障お知らせ機能が動作していませんか?	音声が有る場合、故障お知らせ機能が動作していませんか?	新しい乾電池に交換してから電源を入れ直し、電源が入らない場合は使用しないでください。
電源を切り、新しい乾電池に交換してから電源を入れた後、電源が入らない場合は使用しないでください。	電源を切り、新しい乾電池に交換してから電源を入れた後、電源が入らない場合は使用しないでください。	電源を切り、新しい乾電池に交換してから電源を入れてください。電源が入らない場合は使用しないでください。
電源が入らない。	電池残量があることを確認してください。	電池残量が無い場合、電源を切り、新しい乾電池に交換してから電源を入れてください。
画面に電池残量表示のみが表示されている。	アラーム音が小さくなる機能は、1度だけ作動します。	安全を確認した後、アラームが鳴りやむまで、しっかりと換気をしてください。
アラーム中、スイッチを押したときにアラーム音が小さくなる時がある。	アラーム音が鳴らない、または小さくて聞き取れない。	スピーカーが故障している可能性がありますので、使用しないでください。
アラーム音が鳴らない、または小さくて聞き取れない。	使用温度範囲(⇒P4の「仕様」を参照)より高い温度で保管あるいは使用していませんか?	安全が確認されたら、以下の処置をしてください。
保管中に突然、アラームが鳴り始めた。	周囲に一酸化炭素が発生していないか、ご確認ください。	センサが化学物質に反応することがあります。風通しの良い場所へ移してください。徐々にセンサ内部の化学物質が抜け、数値が下がっていきます。(化学物質にさらされた時間によっては、数値が下がるまでに数日以上を要する場合があります)
電源を入れ、使用状態になったと同時に、液晶表示の数値が上がっていた。	正常に起動していない可能性があります。	乾電池を入れ直してから再度、電源を入れてください。それでも正常に起動しない場合は、機器が故障している可能性がありますので、使用しないでください。
画面に何も表示されない。		